

建築物の周辺環境への配慮

代表取締役会長 松川 清伯

地域生態系の保全への対応として、建築物の緑化や雨水の浸透といったわかりやすい対策を着実に講じていくことが大切になります。緑化には省エネルギー化、日射の遮蔽、騒音の低減等の効果があります。例えば、敷地内の緑化、屋上緑化、壁面緑化、室内緑化、斜面緑化等の手法があります。

植物の大気汚染防止機能については、光合成に伴う作用があげられる。植物は葉面にある気孔を通して空気中のCO₂を吸引する際、同時に吸気中に含まれる大気汚染ガス(NO_x、SO_x等)が植物体内に取り込まれる。都市のヒートアイランド現象の原因としては、都市における緑地の減少、高密度化に伴う県境への大量の熱エネルギーの放出と、都市機能の停滞に起因する。植物は光合成の祭、葉面より体内の水分を放出します。その気化熱により気温上昇を抑えるため、温熱環境の面からは優れた温度調節材といえる。

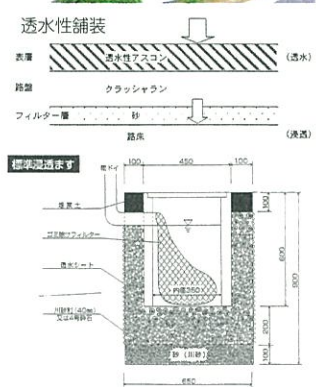
■屋上緑化
屋上空間を自然のオープンスペースとして活用 防災、雨水対策、プライバシー確保、趣味の園芸、菜園、寛ぎ空間としての利用。



■壁面緑化
都市内の緑の総量を増やす手段として、建築物の壁面を新たな緑地空間とする。壁面を緑化することによって、壁面に潤いを与え、熱や光の照り返しを抑えて都市生活の快適性を向上させる。



■雨水の浸透(地下水の涵養)
駐車場を透水性舗装、又は、マスブロックを敷き芝植え敷地内に雨水浸透施設を設ける事により、水循環の再生を図る。



祝日法による今年のGW



伊禮 奈津子

皇太子さまが天皇に即位される5月1日が祝日となり今年のGWが10連休とのことですが何故に？

祝日法(国民に関する法律)によると「前後が祝日である平日は国民の休日となる。」とのことでした。

5/1を祝日にしたことで祝日に挟まれた4/30、5/2が休日=10連休。オセロのような仕組みで面白いなーと思いました。

昨年の12月に決定後、ツーリストで組まれた欧州などの遠方への旅行はすぐさま埋まったらしく、観光地沖縄もどこも混みになりそうですね。サービス業は忙しいGWになるのでしょうか。

10連休に賛否両論ありますが、銀行や郵便局、役所など利用できない場所を把握しておきながら連休難民にならないよう心掛けたいですね。

「鳥堀アパート 竣工」

野原 智子



用途: 共同住宅
構造: 壁式鉄筋コンクリート造
地上3階建
2LDK 5戸
1K 6戸 計11戸
延べ面積: 483.33㎡ (146.20坪)

首里鳥堀共同住宅が無事竣工しました。建設地は首里の高台。第1種低層住居専用地域という事で周辺建物は低く見晴らし良好、3階からは首里城の花火も見えるといい立地です。今回は首里の景観条例で屋根に琉球瓦を載せる事になったのですが、これが結果オーライでなかなか品よく納まった外観になりました。全室即入居決定で良いスタートです。今回も無事完了した事を感謝・・・。



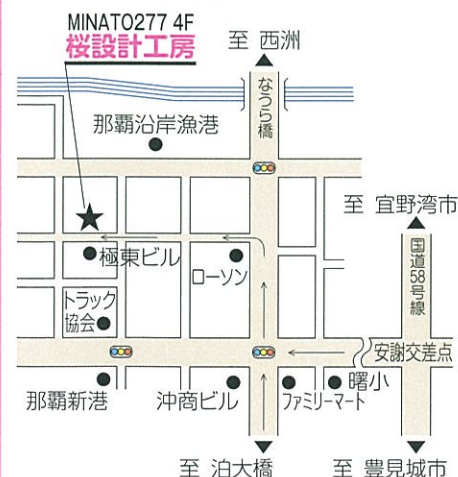
発行所/(有)桜設計工房
所在地/那覇市港町2-7-7
みなと277 4F
電話/098 (867) 5987
FAX/098 (863) 7690
E-mail:info@sakura39.biz
http://www.sakura39.biz
発行人/喜名英之

西原支店/西原町小波津233-16
電話/098 (946) 5066
FAX/098 (863) 7690
宜野座支店/宜野座村字惣慶1829-2
電話・FAX/098 (968) 7222

創業/昭和61年7月1日
営業種目

- * 建築企画設計・監理業務
- * 特殊建築物等調査・検査報告
- * 耐力度調査
- * 耐震診断・改修設計監理業務
- * 補償コンサルタント業務

企業理念=私達は、誇り、使命感を持って顧客の信頼を第一とします。その上で人と自然が共存し、豊かな地球環境を創造して社会の発展に貢献します。さらに建築設計を通して感動、満足、安心を与え、明日への夢と希望を提供します。



働き方改革



(有)桜設計工房
代表取締役社長 喜名英之

新しい年号が「令和」と決まり、「平成」も残すところあと僅かとなりました。「昭和」から「平成」に変わる際、昭和天皇の体調不良が連日報道され、崩御の報道後の自粛ムードから当時の官房長官の小淵氏の年号発表が新しい時代になるという、とても新鮮な気持ちになったのを記憶しております。今回は生前の天皇の退位と皇太子即位ということと10連休でとても明るく新元号を迎えられます。

また、4月1日から働き方改革法案が適用開始されました。各法改正項目の適用開始時期は大企業と中小企業で異なるようです。大きな所では労働時間について上限規制が決められましたし、有給休暇の取得、均等均衡待遇、高度プロフェッショナル制度等があります。

設計事務所といえば長時間労働という印象があるのではないのでしょうか。学生時代、設計事務所で働くことを考えていた私に学校の講師から設計事務所は残業が多く、給料は安いと現状を言われ落胆した覚えがあります。確かに就職した事務所、出向した事務所は程度は異なりましたが、長時間労働、低賃金でした。まだ週休2日制度に移行する時期だったのでそれ以前の世代よりは改善されていたのかもしれませんが。

桜設計工房でも7~8年前までは残業、休日出勤が多かったのです。特に公共工事の設計納期が近づくと休日返上、夜中までの残業というも珍くありませんでした。

現在は当時に比べ残業が大分減りました。私が考える理由は3つあります。1つめはデータの共有、2つめはアウトソーシング、3つめは意識です。1つめのデータの共有は自社で作るデータに部品メーカー等が配布するデータを利用できたり、発注者からも書式や前例等が出来る様になりました。2つめのアウトソーシングは外注の割合を増やしたことです。公共工事の設計で大きく時間を割かれていた積算業務(建物の予定金額を作る)、構造図、外部スタッフの活用することで事務所内の業務を減らしました。3つめの意識は、定時に帰るのが当たり前の社風ができたこと、無駄に会社に居残らないようになりました。

今後は、更に業務の効率化を模索し、BIMソフト(3次元で図面を設計するソフト)を熟練して個人の技術向上、資格取得、趣味にも時間を当てられ充実した日々を送れることを望みます。

初めまして。

平良 美枝

初めまして。縁あって2月より仲間入りしました平良です。心機一転 気持ち新たにスタートを切りました。

ここ桜設計工務の事務所は港町にあります。窓からは海も港も見えます。思い起こせば、沖縄へふらりと移住してきたのも2月でした。

…雪が舞う寒い夜、軽自動車に生活道具を積み込んでフェリーで出航。四国は足摺岬の灯台や、九州は宮崎シーガイアの高層ホテルを遠く太平洋沖から眺めながら、希望と不安、寂しさと期待で胸いっぱいドキドキの一人旅でし

た。そして、とうとう那覇新港に上陸。そこから沖縄生活が始まったのでした…。

ちょっとひたってしまいました…あれから〇〇年。今年には元号も変わり、私にとってもちょうど節目の年になります。その間に、生活環境も様々に変化してきました。その中で一番悩ましいのは、仕事と生活の両立でした。

この事務所は、労働環境が整っていて働き良い感じがします。一緒に働く皆さんもいい人達で、理解ある先輩方や、若手もいて皆さん楽しそうです。そして、なにより半数を占める女子の存在が心強いです。

まだ2か月程ですが初心を忘れず頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。

捨てる物に感謝？！

上原 麗奈

先日、娘からトイレにかけてある手拭き用のフェイスタオルが少し匂うと指摘がありました。昨日変えたばかりだし、見た目もそんなに汚くはないけど、何年も前から使用しているから古くなっているのだろうなあと判断し、なにも考えず「じゃあもう捨てちゃうねえ」とゴミ箱の中に投入しました。それを見た娘に「え…？ありがとうございます言わないで…」とポツリつぶやかれ…。まさに彼女の中で私は今“ひじゅるーこーこーの母親状態…”(+_+)何食わぬ顔をしたみたものの、心の中に小さな

打撃をくらってしまいました。娘にしてみれば、それは長年愛用してきたディズニーキャラクターの可愛いタオルだったので当然の想いだったかと思えます。物を大切にとか、食べ物には感謝だよと幾度となく教えられ、そして教えてきたはずが、ふとした緩みで忘れてしまう。そして大人になると子供目線で視野を広げることが少なくなり、子供に言われてはっとすることが多くなってしまっている現実。日常の忙しさから、つい目の前の感謝を忘れてしまっている自分に、今一度改めよう！と思った今日この頃でした。

(ああ、そうだ…雑巾にでもすればよかった？(;`д´)笑)

ありがとうございました！



骨折：エピソードFinal

島 正道

7日間の退屈な入院生活から開放され、ウキウキ気分が家路に着くと、想定はしていたが家の中でも松葉杖等を使用しないと移動する事が出来ない、なるべく移動しないで過ごせる場所にジッとしている事にした。自然と流し台の換気扇前が私の定位置となった。

早速、病院では出来なかった酒、煙草を嗜みながら明日からの事を考えてみた。この状態で一人家の中で過ごす事の不具合は何かあるか。不安しかないが、この状態を受け入れる事しかなかった。

次の日、想定以上に、トイレ、風呂、食事、就寝等、何をしても不便極まりない。退院を早まってしまったか？病院で過ごしていた方が良かったかも？メリハリの無い状態で無駄に時間の経過が長く感じる1日、また明日も同じ時間を過ごすのがヤバくて怖い！

松葉杖の状態でも車も運転する事もできないが、会社に連絡相談し、次の日より会社に応援してもらおう事で、自宅療養という私にとっては、墮落生活をしていくであろう自分を、救ってくれた会社に感謝します。

仕事内容が、主にデスクワークの業務の仕事を選択していた事、住居と職場にエレベーターがあった事、良い会社に所属していた事、数々の恵まれた環境があったからこそ骨折してから9日目にして仕事復帰する事ができた。

主治医からの車の運転許可が出るまでの約1か月間あまり、出勤往復の送迎をもらった喜名社長、大城専務、事務の上原さん、特に感謝してます。

骨折での通院完了までに約5か月かかりましたが、まだ、足を庇うクセが残っていて、ゆっくりと歩く事しかできませんが、少しずつ走れる様になりたいです。



御迷惑をお掛けしました！

自転車デビュー

作画：崎原利克



建築設計の立体化

安里 佳菜

桜設計工房に入社してから早一年が経過しました。まだまだ学ぶことが多い毎日ですが、沢山の方にご指導頂いたおかげで、実務の世界が少しずつ広がっていると感じております。

今年はパース(建物の外観や内観)を作成することが多く、いかに分かりやすいパースを作るかで奮闘しました。プレゼン等の伝達手段の中で重要な役割を持つので、どの位置から見た方がより魅力的なのかという点では、まるでカメラを構えて仕事をしているようでした。外壁の色の検証をすることもあり、様々な活用方法があることを実感いたしました。

パース作成とは別に、竣工後の建物の写真を撮りに行くこともあり、その際には晴天を狙って向かいます。青空だと建物がよく映えるので、天候が変わりやすい沖縄では撮影に難しい時期もありそうです。そのおかげもあって、最近ではカメラに興味をわき、イベントごとにカメラを持ち出すようになりました。カメラは初心者なので、まずは身の回りの物や家族写真から。四角の中に対象を収めるのは難しいですが、とても面白いです。

画像は先月までに作成したパースの一部になります。今年2月に竣工した首里鳥堀共同住宅は左の画像になります。お立ち寄りの際には、是非眺めて頂けると幸いです。



首里鳥堀共同住宅



「はたらきかた・理系人改革」

大城 哲男

春4月新年度が始まった。2月中旬に女性一級建築士が新たに社員に加わり、わが社の建築士男女割合が半々に、女性一級建築士は2名へと増えた。俗的に言う「リケジョ」が増えたのである。リケジョとは理系女子の略称ですが、理系の女子学生や女性研究者、理系職業の女性社員などを指しています。

かつて男子は「理系」、女子は「文系」職業(進路)へと決めつけられたイメージがあったが、それも過去のものとなっており、男女それぞれの特性を生かし、職場環境の充実、体制及び生産性(成果)の改善・向上を図っていく必要性を強く感じる。

一般的に、「理系」の人の特徴として男女に関係なく、理論的な思考ができる、こだわりが強い、我慢強

い、一つことに集中することが得意などと言われている。わが社の建築士を見渡してみても、例に漏れない典型的な「理系の人」ばかりである。

但し、法律に接したり、説明文を書いたり、説明力、交渉力、傾聴力を求められたりと、「理系人」の要素だけでは「独りよがり」になってしまう傾向があり、「文系人」の要素も求められ幅広い知識・能力を有する人材が要求されている。設計に携わる我々建築士は、「理文系人」としての要素を併せ持ち、切磋琢磨し技術力を高め協働し、社会のニーズに答えられる会社へと発展させなければならないと考えている。

